

杉原千畝 リトアニア領事代理時代にナチスを逃れるユダヤ人にビザを発行, 30年後に"日本のシンドラー"の評価。

すぎはらちうね

ビ7/国産化・1900 = 岐阜県加茂郡八百津町で、税務署員の次男に生まれる。

日露戦争終・1905 = 5歳 :

父が朝鮮総督府に転勤となり、

伊藤博文暗殺1909 = 9歳 :

明治天皇没・1912 = 12歳 :

退職後、京城で旅館業を営むようになる。

民本主義・1916 = 16歳 : 父に呼ばれた家族が朝鮮に渡ってしまうなか、一人日本に残って、

ロシア革命・1917 = 17歳 : 中学を卒業。朝鮮に向かうと医学専門学校を受験させられ、白紙答案出して、半ば勘当され、

本格政党内閣1918 = 18歳 : 上京して、早稲田大学高等師範部英語科に入学。

ヘルシンキ条約・1919 = 19歳 : **外務省の留学生募集広告を目にするや、受験を決意して、合格し、満州ハルビンに渡る。**

大暴落・1920 = 20歳 : 志願兵として京城の歩兵連隊に入隊、

原敬首相暗殺1921 = 21歳 : 母が死去して衝撃、

水平社結成・1922 = 22歳 : 除隊してハルビンに戻る。領事館の手伝いしながら、**日露協会学校(ハルビン学院)特修科に通い、**

関東大震災・1923 = 23歳 : 修了し、**ソ連国境の満州里に移住して磨きをかけ、**

護憲三派圧勝1924 = 24歳 : 外務省書記生に採用。白系ロシア人の亡命貴族の娘と結婚し、ロシア正教の洗礼を受ける。

日本時代始・1926 = 26歳 : **大部の報告書「ソビエト連邦国民経済大観」をまとめ、**

金融恐慌・1927 = 27歳 : 外務省出版物となる。

世界恐慌・1929 = 29歳 : 以後数年、ハルビン学院非常勤講師。

満州事変・1931 = 31歳 :

五一五事件・1932 = 32歳 : **満州国が建国されると、同国外交部に出向、首席代表大橋忠一のもとで北滿鉄道の利権獲得交渉に奔走、**

国際連盟脱退1933 = 33歳 : ドイツでナチス政権が生まれる。

功績みとめられ、政務局ロシア課長兼計画課長に昇進、

芥川直木賞始1935 = 35歳 : 有利な条件で決着させて、**日本に帰国。離婚し、友人の妹と再婚。**

二二六事件・1936 = 36歳 : 長男が誕生。**モスクワ大使館二等通訳官となるが、おそらく、情報問題で、ソ連からビザが下りず、**

日中戦争始・1937 = 37歳 : 家族を連れて、**公使代理としてフィンランドの日本公使館(ヘルシンキ)に赴任。**

健保+総動員1938 = 38歳 : 次男が誕生。ドイツでユダヤ人迫害がはげしくなる。

第二次大戦始1939 = 39歳 : ***開設されたリトアニアの日本領事館(カウナス)へ領事代理として赴任。**

大政翼賛会・1940 = 40歳 : 三男が誕生。**ユダヤ人難民が領事館に集まるのを見て、外務省からの禁止もかまわず、ユダヤ人難民に日本**

通過のビザ発行をはじめ。カウナスからベルリンへ。領事としてチェコの日本領事館(プラハ)へ。

日米開戦・1941 = 41歳 : **領事として東プロイセンの日本領事館(ケーニヒスベルグ)へ移る。**

中川雅普「大島浩」によれば、この年、ドイツの情報機関が作成した「ドイツ帝国における日本人スパイに関する報告書」では、筆頭にあげられており、松岡外交方針に反して、ソ連情報を、ロンドンの亡命ポーランドに届けていたというから、本業の、情報で多忙を極めていたため、機転をきかせてビザ発給したらしい。

***ルーマニアの日本公使館(ブカレスト)に移り、公使(代理)になる。**

年金+総武装1944 = 43歳 : 空襲をさけてボヤナブラショフの別荘に移る。

敗戦・1945 = 45歳 : **ドイツ降伏でブカレストに戻りソ連軍に軟禁され、敗戦で日本公使館全員がルーマニア軍の兵営に入り、**

新憲法公布・1946 = 46歳 : シベリアを横断し、ウタディオストックから、

新憲法施行・1947 = 47歳 : 三男が病死。**興安丸で帰国。おそらく戦中の情報活動を伏せるべく、外務省からの勧告で、辞職。**

得意のロシア語活かし、貿易会社に勤め、ニコライ学院のロシア語教師などしながら家計を支え、

朝鮮戦争始・1950 = 50歳 :

独立回復・1951 = 51歳 : 四男・伸生が誕生。

自衛隊発足・1954 = 54歳 :

安保闘争・1960 = 60歳 : **貿易会社のモスクワ事務所長としてモスクワへ移り、**

TV宇宙中継始1963 = 63歳 :

東京リトル・1964 = 64歳 :

霞ヶ関ビル・1968 = 68歳 : 一時帰国中、**イスラエル大使館でユダヤ人難民のひとりと再会する。**

全共闘ビル・1969 = 69歳 : モスクワへ戻る途中、***イスラエルを訪問し、バルハフティック宗教大臣と再会。勲章も授与される。**

大阪万博・1970 = 70歳 :

日中国交回復1972 = 72歳 :

石油ショック1973 = 73歳 :

クランプトン事件1975 = 75歳 : 退職し、帰国。

1981 = 81歳 :

ジャンボ機墜落1985 = 85歳 : ***イスラエル政府から日本人唯一の"諸国民の中の正義の人賞"を贈られ、エルサレムに顕彰碑が建立され、**

パブル始・1986 = 86歳 : **没した。**